

- ◆企画名 2018年度 関西大学ピア・コミュニティ春企画「心技体」
日 程 2019年3月11日(月)
場 所 第2学舎2号館 C204教室、屋内グラウンド
参加者数 14名(ピア・サポータ11名、学生支援室TA1名、教職員2名)
目 的

- ・企画の計画から実行までの過程を学び、実際にワークでそれらを体験することで、企画を実施するにあたって大切な知識を身に付ける機会にする。その中で、ニーズ把握のコツや効果的な振り返りの方法を考える場にもする。
- ・ピア・コミュニティの枠を超えて交流することで、ピア・サポータ同士の絆を深め、同じピア・サポート活動を行う仲間であることを感じてもらい、今後のコミュニティ間の連携を促進する。

内 容

- 9:30 ワーク班準備
- 10:00 ワーク「企画運営のプロセス」
- 11:30 昼食
- 12:00 スポーツ班準備
- 12:30 スポーツ企画(大縄跳び、ドッジボール、リレー)
- 15:30 解散

効 果

- ・実際に企画運営のプロセスを体験することで、企画の立案から総括まで具体的に何をやる必要があるのか、どのようにして改善点を発見するかを参加者に理解してもらうことができ、今後活用できるスキルを身に付けてもらうことができた。
- ・スポーツを通してコミュニティの枠を超えて交流することができ、ピア・サポータ同士の絆を深めることができた。

改 善 点

- ・当日に欠席者があり、ワークのグループ分けに影響が出たため、欠席者がいても混乱が起きないように事前に人数の変更があった場合のことを想定しておく。
- ・ワークの間に休憩がなかったため、次回からは参加者に負担なく参加してもらえるよう適宜途中で休憩の時間を設け、ワークに集中できるようにする。
- ・スポーツ企画では、参加者によっては体調面で参加できないスポーツもあったため、見学者も楽しめるような内容にする。

感 想

企画の計画段階で情報共有不足により進行が遅れることがあったため、スムーズに準備できるようにメンバー間でより協力する必要があると感じた。しかし、企画当日はワークもスポーツ企画もスムーズに進行させることができ、コミュニティを超えて交流できる機会にもなり、ピア・サポータ同士の絆を深めることができた。

スポーツ企画は今回が初めてであったが、交流する良い機会になったので今後もスポーツ企画を実施してみたいと感じることができた。今回の反省点を活かし、より良い企画を実施できるようにメンバー同士で協力し、コミュニティの枠を超えて交流できる機会を増やしていきたい。